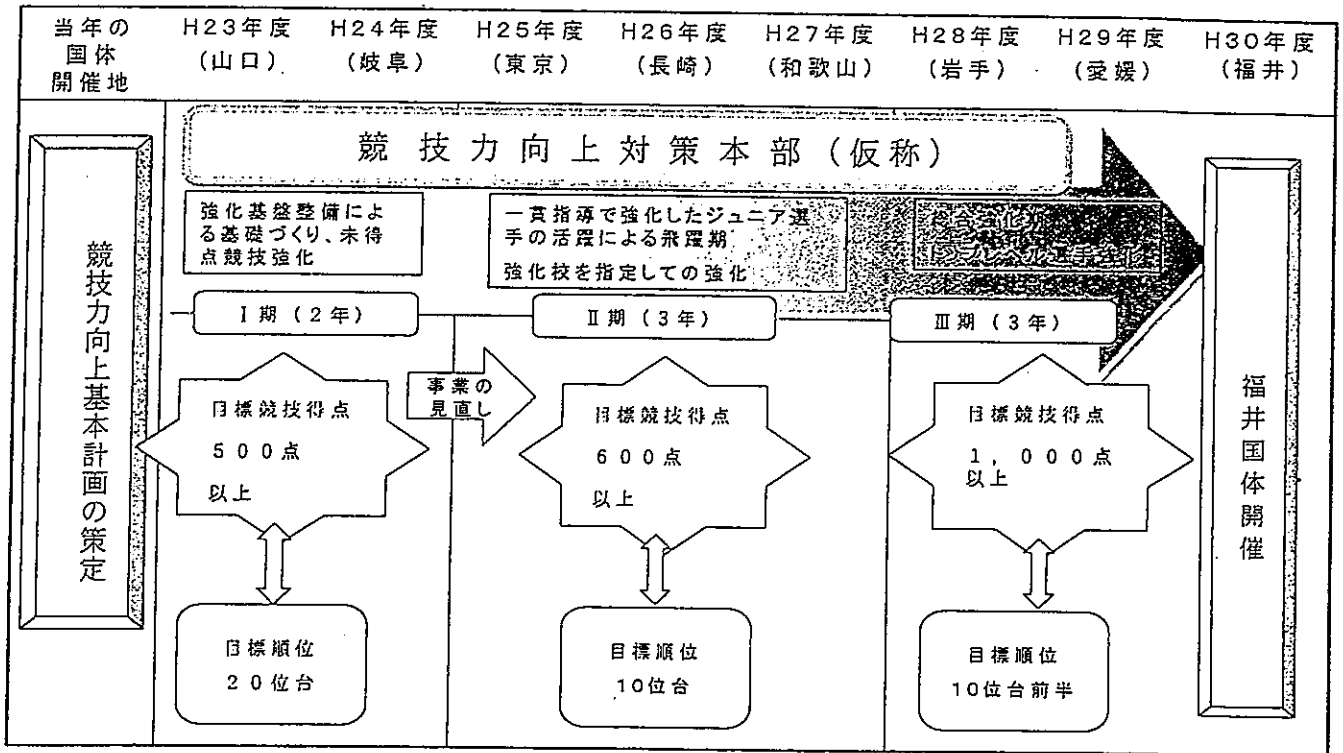


# 福井県競技力向上基本計画概要

## I 計画の趣旨

第73回国民体育大会における「開催県としてふさわしい成績」の獲得を目標に、国体までの8年間の競技力向上に関する基本的な考え方、方向性を示す。

### 計画の期間と目標

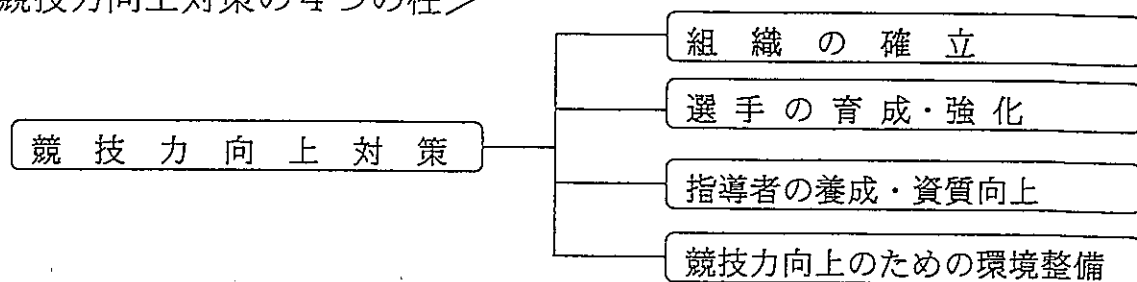


## II 本県競技スポーツの現状

## III 競技力向上のための取組み

競技力向上対策本部を設置し、関係機関と連携を図りながら事業の実施、分析、評価を行う。

### <競技力向上対策の4つの柱>



現状と課題解決に向けた施策の方向性 (別紙)

## IV 競技力向上対策の推進

競技力向上対策本部は、年度ごとの事業計画を作成するとともに、競技団体の作成する競技種目別強化計画を検証し、競技団体への指導助言を行う。

## (1) 組織の確立

### 1 対策本部による総合的な実施・指導体制

- ・対策本部において競技力向上対策を総括し、強化事業を効果的に推進
- ・各競技団体の取組み状況を分析・評価し、各種強化事業を改善

### 2 競技団体の組織的、計画的な選手強化体制

- ・各競技団体において強化部等の組織の確立・充実を図り、強化を推進
- ・競技種別強化計画を策定し、現状分析に基づいた強化事業を実施
- ・全国レベルで実績のある中央指導者等を配置（委嘱）し、組織を強化

### 3 団体間のネットワークの確立

- ・学校体育団体と競技団体による密接なネットワークの構築
- ・「社会人スポーツ推進協議会」（仮称）を設置し、選手、指導者の受け皿づくり
- ・会場市町で、国体後も競技が継続されるよう、競技団体と連携した取組みを進める

## (2) 選手の育成強化

### 1 少年種別選手の強化

- ・体力や競技能力に優れた子どもたちを発掘し、中長期計画で育成、強化
- ・強化校を指定し、学校単位での強化策を推進
- ・全国で入賞歴のない競技や普及が十分でない競技に対する特別強化・普及対策
- ・会場市町と競技団体とが連携し、地域内の学校に対する強化競技の育成強化を図る

### 2 成年種別選手の強化・確保

- ・ジュニアからの一貫した強化策で優秀な成年選手を育成
- ・高い競技力を有する選手の受け皿として、大学を支援
- ・企業チーム、クラブが行う合宿等の強化策を支援
- ・「ふるさと選手制度」を活用し、優秀な選手を確保
- ・教員採用スポーツ特別選考制度を活用し、優秀な人材を確保

### 3 優秀選手の県外流出防止

- ・チーム福井の創設により、福井県選手としての自覚と誇りを醸成
- ・県内選手を育成強化できる、高等学校推薦入試制度の充実を検討

### (3) 指導者の養成・資質向上

#### 1 熱意を持った指導者の養成

- ・ 熱い志を持った指導者の育成と、スポーツ振興の中核となる人材を育成
- ・ 高い知識と技術を備えた指導者育成を目指し、公認スポーツ指導者資格取得を促進

#### 2 指導者の確保と適切な配置の促進

- ・ 指導者の発掘に努め、外部指導者を活用した強化事業を推進
- ・ 優れた指導力を有する教職員の、専門性を考慮した学校への配置
- ・ 国内外から指導力の高いコーチを招へいし、強化校等に配置

### (4) 競技力向上のための環境整備

#### 1 強化活動への環境整備

- ・ 各種スポーツ施設の有効活用による強化練習会場の確保
- ・ 特殊競技用品等の計画的な整備
- ・ 強化活動に円滑に参加できるよう、勤務やサービスの取扱い等の配慮を関係機関に要請
- ・ スポーツ保険の加入促進など、安全指導や安全対策の充実を図り、事故防止を推進

#### 2 スポーツ医・科学支援体制の充実

- ・ 医学面や科学面からのサポートによる競技力向上
- ・ 専門知識を有するスタッフの確保と派遣により、各競技団体をサポート

#### 3 県民意識の高揚

- ・ 広報活動を積極的に展開し、県民の理解・共感を得ながら気運を醸成
- ・ 選手、指導者の活躍を称え、功績を県民に広く紹介
- ・ 全国大会等の開催を支援し、スポーツに対する興味・関心を向上